

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 平成30年4月12日(木) 13:30～

場所 白石市役所 4階 第4会議室

1. 点訳「白石市総合観光パンフレット」の寄贈について
2. 「しろいし慕心プロジェクト」平成30年度事業について
3. 「住みよしみやぎづくり功績者表彰」の伝達式について
4. その他

## 点訳「白石市総合観光パンフレット」の寄贈について

担当：市民経済部商工観光課

### 1. 寄贈者 点訳グループ「てんとうむし」

出席者 代表 竹川 多喜子 氏  
山田 睦美 氏  
石崎 光子 氏（白石市在住）  
大槻 孝子 氏

#### 「てんとうむし」の主な活動

大河原町を活動拠点とする点訳グループ。大河原町の広報紙や、仙南広域だより、社協だより等を点訳し利用者に配布している。

その他、大河原・柴田町共通のさくらパンフレットの点訳や絵本を点訳し図書館などに寄贈。

点字を広めることに止まらず、点訳を通してバリアフリーな生活を目指した活動を行う。

### 2. 白石市観光パンフレット点訳のきっかけ

大河原町を拠点として活動するグループではあるが、メンバーの石崎氏が白石市在住であり、山田白石市長の名刺に点字を印刷したことが切っ掛けで、白石市と関わりを持つようになった。

観光パンフレットを通じて「点字に対する啓蒙にもつながれば」との思いもあり、春の観光シーズン、特に「全日本こけしコンクール」に間に合うように点訳観光パンフレットを制作いたしました。

### 4. 寄贈数 5冊

※別途、白石市社会福祉協議会にも寄贈予定。

### 5. 設置場所

- ・白石駅観光案内所
- ・白石蔵王駅観光案内所
- ・白石城歴史探訪ミュージアム
- ・白石市図書館
- ・白石市役所

※こけしコンクールコン開催中は、会場臨時観光案内所に設置

平成30年度  
戊辰戦争150年  
しろいし慕心プロジェクト



報道用資料

2018年4月12日



## はじめに

### 戊辰から150年。 時代を超えて、今とつながる。 歴史を慕い、まちを慕う。

慶応四年 戊辰閏四月十一日、会津藩の救済と停戦を求め、奥羽十四藩の代表が、白石城に集結し奥羽越列藩同盟結成への発端となった「白石会議」。幕末の激動の中、白石で何が行われたのか、どんな役割を担ったのでしょうか。

本市をはじめとした全国の地方都市は、少子高齢化や若者の大都市への流出などの問題を抱えています。

いつの時代においても地方都市は数多くの問題を抱えて、幕末から明治維新にかけては、政治的に極めて大きい問題が発生。歴史上初めて、奥羽越列諸藩が集結し、列藩同盟を結成したのも、共通した問題を解決するためで、地域の課題を検討、解決することは以前から行われていたことでした。

すなわち、現在の各地域共通の問題の解決には、過去の大きな困難を乗り越えてきた先人の行動から学ぶことに意義があります。

過去の歴史を学び、先人の意気込み、思い、情熱を慕い、今後の糧にすることが大切です。戊辰戦争150年の節目をきっかけに白石の歴史を知り、学び、「過去と今」そして「自分とまち」の“つながり”を認識する事業にしたいと考えます。

昨年からスタートしました「しろいし慕心プロジェクト」は、戊辰戦争150年を迎える本年も様々な取り組みを実施します。

# プロジェクトシンボル



心

慕心、明日へ。

しろいし

しほし

「しろいし」の文字で出来た「心」を象ったシンボルです。  
受け継ぎたい先人のこころざしを胸に、  
白石市を誇る市民の「心」を表現しました。

## 慕心、明日へ。

戊辰(ぼしん)＝慕心(ぼしん)

懐かしく思う。思いをはせる。

決してノスタルジックな気持ちではなく、

豊かな白石城の城下町を心の原風景とし、

戊辰戦争という歴史を学び、慕い、白石の未来を思うこと。

このスローガンは、

歴史ある白石を慕う

市民の心と明日への思いを発信します。

# プロジェクト1 イベントを通して白石を学び、慕う。



## ～時代を超えて～ 白石会議2018

150年目となる戊辰戦争と白石市の係わりについて市民、県民そして東北の方々に知っていただくため白石市のシンボルである「白石城」でイベントを開催します。

### 概要

催事名： ～時代を超えて～白石会議2018

日時： 平成30年6月2日(土) 10:00～17:00(予定)

場所： 白石城本丸広場 ※入場無料(但し白石城は入館有料)

主催： 白石市・白石市教育委員会(予定)

参加自治体： 奥羽越列藩同盟ゆかりの自治体(予定)

プログラム： ◇白石会議①:講演会

歴史学者/東京大学教授 本郷 和人(ほんごう かずと)氏

◇白石会議②:

奥羽越列藩同盟ゆかりの自治体が時代を超えて語り合う

◇TBC東北放送ラジオ公開生放送「それいけミミゾー」

◇白石市の郷土芸能ステージ

◇奥羽越列藩同盟ゆかりの自治体による物販・PRコーナー

◇白石市のグルメ、地場製品の販売

◇甲冑撮影会 など。

# プロジェクト1 イベントを通して白石を学び、慕う。



## ○白石会議 2018 第一部～講演会(14:00～14:50)予定

- ・歴史学者/東京大学教授 本郷 和人(ほんごう かずと)氏を招聘し、  
戊辰戦争・幕末についての講演会を実施します。

## ○白石会議 2018 第二部 (15:00～16:00)予定

- ・奥羽越列藩同盟ゆかりの自治体が集まり、150年前の戊辰戦争について、  
語り合います。

## ○東北放送ラジオの公開生放送(10:00～14:00)予定

- ・番組と連動し、多彩なステージを実施します。  
※戊辰戦争を語るコーナーや郷土芸能など。(出演団体調整中)

## ○奥羽越列藩同盟自治体ブースPR(10:00～17:00)予定

- ・奥羽越列藩同盟ゆかりの自治体の物販・PRブースを会場内に設置します。

## ○その他のイベント(10:00～17:00)予定

- ・地元の方々に協力いただき、昔遊びなどのブースを開催します。
- ・特産品を使ったオリジナルメニューを開発し、ふるまいや販売を実施します。
- ・戊辰戦争に関するクイズ大会を実施します。

# プロジェクト1 イベントを通して白石を学び、慕う。



## ○白石会議 2018 第一部～講演会講師



### 本郷 和人(ほんごう かずと)氏プロフィール

歴史学者/東京大学教授 1960年10月12日生/東京都出身

#### <経歴>

東京大学文学部卒業

東京大学大学院人文科学研究科博士課程取得

#### <職歴>

東京大学史料編纂所助手/東京大学史料編纂所助教授

東京大学大学院情報学環助教授

東京大学大学院情報学環准教授

東京大学史料編纂所准教授 /東京大学史料編纂所教授

- ・日本中世政治史を専門とし、『中世朝廷訴訟の研究』で東京大学博士号取得。
- ・NHK大河ドラマ「平清盛」の時代考証を始め、多くのドラマ/アニメ/マンガの時代考証、テレビ番組の監修にも携わる。
- ・大のAKB48ファンとしても知られ、「AKB48シングル選抜総選挙」関連番組にも出演。

#### <著書>

『真説・戦国武将の素顔』/宝島新書 /『戦国武将の明暗』/新潮新書

『NHKさかのぼり日本史』/NHK出版 /

『武士とはなにか 中世の王権を読み解く』/角川ソフィア文庫 他多数

#### <出演>

NHKBSプレミアム「偉人達の健康診断」、「プロファイラー」

NTV「世界一受けたい授業」

EX「林修の今でしょ！講座」他多数



# プロジェクト2 写真を通して白石を見つめる。



## 写真家 関口照生氏が白石を撮影

昨年度に引き続き、写真家関口照生氏に白石市を撮影していただきます。昨年度撮影した写真は、本プロジェクトのパンフレットや、シティプロモーションムービーなどに使用し、今年度も様々な白石市のシティプロモーションへの活用を計画しています。



### 関口 照生(せきぐち てるお)氏プロフィール

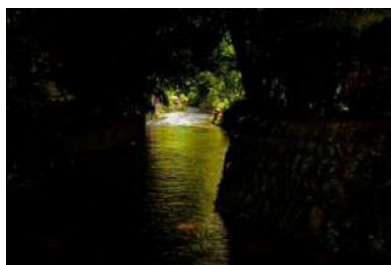
日本写真家協会(JPJS)会員  
東京生まれ/明治大学卒業  
倉敷芸術科学大学客員教授

カレンダー・ポスター・コマーシャルなどの  
広告や雑誌・写真集の撮影を中心にフリーのフォトグラファーとして活動。  
世界の辺境を訪ねるTV番組の取材をきっかけに、以後ライフワークとして中国少数民族、カナダ北極圏、カラハリ砂漠、グアテマラ、コスタリカ、ミャンマー、キューバ、ブータンなどプリミティブな環境で暮らす人々の取材を続け、シリーズ「地球の笑顔」の作品展を全国各地で開催。  
2013年は、日本スペイン交流400周年の年となり、支倉常長の足跡を取材し、写真展「支倉の道」を開催する。  
作品集に「火のラティード」、「膳のパフォーマンス」、「地球の笑顔」シリーズ、「支倉の道」、竹下景子との共著「ハロープラスワン」、泉谷しげるの写真集「百面相」、名取裕子写真集「序の舞い」、かたせ梨乃写真集「DAY FOR NIGHT」など多数。  
小笠原ドキュメント映画「EDEN」監督。  
「ニコン フォトコンテスト インターナショナル」、経済産業省「今年のロボット大賞」ほか様々な分野の審査員、政府の諮問委員なども務める。  
<http://sekiguchiteruo.jp/>

### 【昨年度撮影写真】



白石城



沢端川



上戸沢宿

## プロジェクト2 写真を通して白石を見つめる。



### ○しろいし写真塾の開催

昨年度は、一般と高校生を対象に写真塾を2回実施し、白石市内から参加していただきました。

今年度は白石市外の方々も対象に募集を行い、関口氏と参加者が市内を散策しながら一緒に撮影するイベントも企画します。

◆開催日:未定

◆対象者:高校生～一般

### ○写真コンテストの開催

昨年度は、96点の応募がありました。幅広い年齢層の方々から、様々な視点で撮影された写真は、白石の魅力を再発見させられるものでした。本年度も引き続き実施します。

◆募 集:7月募集開始を予定 ※ホームページなどで発表します。

### ○コンテスト入賞者の写真展の開催

昨年度の入賞者写真展では、入賞者の皆様から大変に喜んでいただき、表彰式当日には、ご家族などが多く訪れました。

市民のふるさとへ関心度をあげるよい催事として本年度も開催します。

なお、昨年度入賞作品の写真展は現在開催中です。

◆しろいし慕心フォトコンテスト入賞者写真展

場所:しろいし情報館(JR白石蔵王駅内)

期間:平成30年5月10日(木)迄

# プロジェクト3 歴史を通して白石を見つめる。



## 白石市農業祭第40回記念 戊辰戦争150年記念 歴史シンポジウム

平成30年度は、本市の一大イベントである「白石市農業祭」も、第40回の記念の年を迎えることから、記憶に残るイベントを行います。

奥羽越列藩同盟に関わった大藩が、慶応4年当時、それぞれどのような政治的選択をしたのかを明らかにしつつ、列藩同盟の結成から瓦解（がかい）とその前後について振り返ります。

本シンポジウムでは、仙台・米沢・秋田の3藩を取り上げます。

奥羽越公議府が設置されたこの白石に、150年の時を経て、仙台・米沢・秋田各藩の若手研究者が集い、奥羽越公議府さながらの議論を展開します。

### 概要

名称:「慶応4年 奥羽の選択～それぞれの列藩同盟～」(仮)

日時:平成30年11月11日(日) 開演13:30

会場:ホワイトキューブ コンサートホール

報告者:①仙台藩 栗原 伸一郎(くりはら しんいちろう)

(東北大学大学院文学研究科教育研究支援者)

②米沢藩 友田 昌宏(ともだ まさひろ)

(東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門助教)

③秋田藩 天野真志(あまの まさし)

(人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館特任准教授)

# プロジェクト3 歴史を通して白石を見つめる。



## 【講師プロフィール①仙台藩】

栗原伸一郎(くりはら しんいちろう)

- ◆生年月日 1975年3月1日
- ◆現職 東北大学大学院文学研究科教育研究支援者
- ◆最終学歴  
東北大学大学院文学研究科歴史科学専攻日本史専攻分野博士課程  
後期3年の課程単位取得退学  
文学博士(東北大学)
- ◆関連著作・『戊辰戦争と「奥羽越」列藩同盟』(清文堂出版、2017年)
- ・『幕末戊辰仙台藩の群像—但木土佐とその周辺—』(仙台江戸学叢書、大崎八幡宮、2015年)
- ・『仙台藩の意思決定過程と伊達慶邦』  
(明治維新史学会編『明治維新史論集1 幕末維新の政治と人物』)有志舎、2016年)

## 【講師プロフィール②米沢藩】

友田昌宏(ともだ まさひろ)

- ◆生年月日 1977年3月20日
- ◆最終学歴 中央大学大学院文学研究科日本史専攻博士後期課程修了
- ◆関連著作  
・『戊辰雪冤—米沢藩士・宮島誠一郎の「明治」』(講談社現代新書)
- ・『未完の国家構想—宮島誠一郎と近代日本』(岩田書院、2011年)
- ・『東北の近代と自由民権—「白河以北」を越えて』(編著、日本経済評論社、2017年)

## 【講師プロフィール③秋田藩】

天野真志(あまの まさし)

- ◆生年月日 1981年6月22日
- ◆現職 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 特任准教授
- ◆最終学歴 東北大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学
- ◆関連著作  
・『記憶が歴史資料になるとき』(蕃山房、2016年)
- ・『秋田藩佐竹家中長瀬氏系図の成立と旧領常陸—幕末・明治期の由緒探求と同苗間交流—』(近代茨城地域史研究会編『近世近代移行期の歴史意識・思想・由緒』  
(岩田書院、2017年)
- ・『国事周旋と言路—幕末期秋田藩の政治方針をめぐる対立から—』  
(『歴史』116、2011年)



戊辰戦争150年  
しろいし慕心プロジェクト

<http://shiroishi-boshin.jp/>

「戊辰戦争150年 しろいし慕心プロジェクト」に関する  
お問い合わせ先

白石市教育委員会 生涯学習課  
TEL 0224-22-1343

## 「住みよしみやぎづくり功績者表彰」

担当：保健福祉部長寿課

「あじさいを愛する会」は、昭和56年、当時の自治会長であった前代表が、地域環境美化運動の一環として、「自分達の地区に何か名所となるものを作れないか」という考えから、婦人会総会の場であじさいの植栽を提案し、活動を開始したことに始まり、平成23年6月に会が設立され現在に至っております。

地区内で植栽されたあじさいは、延長で8km、5,000株とされており、「あじさいロード」として多くの観光客の方々に喜ばれています。

なお、会員13名の平均年齢は80歳以上と高齢化しておりますが、訪れた方々が気持ちよくゆっくりと鑑賞できるように、駐車場や休憩所などの整備にも力を入れています。

### ○表彰の要件

本会は、37年の長きにわたり環境美化活動に寄与した団体であり、かつ、「あじさいロード」は地域のみならず、県内外にも知られる名所となったため、その功績をたたえ、住みよしみやぎづくり功績者表彰要綱に基づく清掃美化その他環境美化など環境衛生に尽くした者として表彰を受けるものです。



